

「平成 26 年度版 愛知の観光振興施策の実施状況(平成 25 年度年次報告書)」
 について(概要)

愛知県観光振興基本条例（平成 20 年 10 月 14 日施行）第 9 条第 6 項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画（平成 22 年度～27 年度）に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に報告するとともに、公表を行う。

第 1 愛知の観光の現状

計画期間中の目標として掲げた 5 つの指標の現況は、次表のとおり。

	指 標	目 標 値 (平成 27 年)	計 画 当 初	平成 24 年度 年次報告	現 況
1	観光旅行者の満足度の向上 【非常に満足】	25%	16.3% (平成 21 年)	25.1% (平成 24 年)	26.3% (平成 25 年)
2	(1)延べ宿泊者数	1,500 万人	1,048 万人 (平成 20 年)	1,153 万人 (平成 24 年)	1,238 万人 (平成 25 年)
	(2)うち東アジア 4か国・地域 (中、台、韓、 香)からの延 べ宿泊者数	150 万人	49 万人 (平成 20 年)	45 万人 (平成 24 年)	57 万人 (平成 25 年)
3	(1)(経済的効果) 観光消費額	1 兆円	5,300 億円 (平成 20 年)	4,853 億円 (平成 24 年)	6,667 億円 (平成 25 年)
	(2)(社会的効果) 観光ボランティアガイド数	3,000 人	2,202 人 (平成 20 年 1 月)	2,595 人 (平成 25 年 1 月)	2,228 人 (平成 26 年 1 月)

第2 平成25年度における主要な観光振興施策の実施状況（主なもの）

（1）観光資源の発掘・商品化の支援

県内各地の観光関係団体等から、地域の特色ある観光資源を活用した、ツアー造成やイベント関連の企画を公募し、その中から特に事業効果の高い企画の商品化等を支援した。

（2）プロモーション活動の強化

官民一体となって、本県の特色である「武将観光」、「産業観光」の推進など、観光キャンペーンを展開するとともに、首都圏、関西圏において、トッププロモーション活動を実施するなど、内外からの観光客の拡大を図った。

また、ご当地グルメをPRするイベントや、首都圏において観光物産展を開催するなど、本県の観光と「食」を情報発信した。

海外からの誘客推進に関しては、韓国において、現地旅行会社への訪問セールス、観光説明会、商談会、交流会を開催するトッププロモーション活動を実施したほか、香港及び中国深圳市において、プロモーション活動を実施するとともに香港の旅行会社・メディアの招請事業及び旅行商品の広告支援を実施した。

（3）観光客の受入体制の充実

「おもてなし愛知県民会議」を開催し、県全体で、おもてなしの機運の醸成を図った。（開催日：12月24日、参加団体：行政、観光関係団体、観光事業者、商工団体、地域住民団体 68団体）

・「観光バリアフリー情報」をテーマとした情報交換

（4）広域観光の推進のための連携強化

「中部広域観光推進協議会」（中部9県、名古屋、静岡、浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成）や「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」（愛知、静岡、岐阜、三重の4県、名古屋、静岡、浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成）を通じて、観光展への出展、観光セミナー、商談会の開催など、内外でのプロモーション活動を実施した。

（5）MICE（イベント、コンベンション等）の戦略的な誘致

国が実施する「MICEマーケティング戦略高度化事業」に名古屋市と共同で参加し、海外のMICE専門アドバイザーによるコンサルティングを受けたほか、関連事業者等を対象としたセミナー等を開催した。

また、「B-1グランプリ in 豊川」の開催支援、「あいちトリエンナーレ2013」の開催のほか、2014年開催予定の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」や「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」などの開催準備に取り組んだ。

※「MICE」とは、企業などが行う会議（Meeting）、企業が行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議（Convention）、イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の総称。